

令和5年5月1日

映画『ヤマトタケル』製作発表 松本梨香さん(ヤマトタケル役)登壇決定！

この度、羽曳野市在住で映画監督の岡田有甲さんが、世界の子どもたちに向けた劇場映画『ヤマトタケル』を製作します。

この映画は、羽曳野（大阪）に伝わる「白鳥伝説」をベースに「愛と知恵と勇気」で困難に立ち向かう冒険活劇映画です。

羽曳野市を舞台とした実写パートと近年では珍しくなったマペットを使った人形劇パートを掛け合わせた映画です。

主人公ヤマトタケルの声優を務めるのは、アニメ「ポケットモンスター」のサトシ役でおなじみの松本梨香さん。そして、魅力的な出演陣を迎え、スペクタクル映画でありながら親しみやすい作品を目指します。

日 時	令和5年5月10日（水曜日） 13時00分～14時00分
場 所	白鳥神社（大阪府羽曳野市古市1-1-18）
登壇者	【監督】岡田 有甲（おかだ ゆうき） 【撮影】長田 勇市（ながた ゆういち） 【声優】松本 梨香（まつもと りか）ヤマトタケル役 【操演】高平 和子（たかひら かずこ）人形劇団クラルテ 【プロデューサー】田中 健詞（たなか けんじ） 【羽曳野市長】山入端 創（やまのは はじめ）※到着次第に登壇
取 材 申 込 み	取材される際は、Eメールまたは電話にてお申し込みください。 映画『ヤマトタケル』製作委員会 【担当】プロデューサー 田中 健詞 TEL：090-8653-7041 Eメール：ta@mbg.ocn.ne.jp

問合せ	<p>●映画『ヤマトタケル』製作委員会 【担当】田中（同上）</p> <p>●羽曳野市 都市魅力部 魅力づくり推進課 【担当】辻村 TEL 072-947-3725</p>
-----	------------------------------------------------------------------------------------------------

【タイムスケジュール】

12:30	報道関係者 受付開始（白鳥神社）
13:00	<p>【記者会見 開始】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登壇者あいさつ ※山入端市長は公務のため、到着次第に登壇予定です。 ・質疑応答 ・フォトセッション ・本殿にてお祓い <p>※拝殿には報道カメラも入ることができますが、御神殿を正面にしてカメラを向けることができません。撮影は斜めの角度からお願いいたします。</p>
14:00	【記者会見 終了】

関係者紹介

■岡田有甲(おかだゆうき) 監督

1954年生まれ大阪府出身。1977年に横浜放送映画専門学校に入学。「新・人間失格」（1978）に助監督として参加し、松竹株式会社大船撮影所の契約助監督になる。1997年に有限会社レフレックスを設立。映画、Vシネマ、ドキュメンタリー、テレビ番組と多くの映像作品に携わる。地元、羽曳野市に戻ってからはチャンバラ映画の活弁ライブの開催や、ドキュメンタリー映画も製作。羽曳野に伝わる日本武尊（ヤマトタケル）の白鳥伝説を題材とした脚本に取り組む。主な作品「TRAVERSE トラバース」（2019）、「ミニバンライダー 車いすで駆けてきた人生」（2016）など。

■長田勇市(ながたゆういち) 撮影監督

「がんばっていきまっしょい」(1997)「ウォーターボーイズ」(2001)「式 SHIKI-JICHU 日」(2001)「映画監督って何だ!」(2006)「脇役物語」(2010)「母-小林多喜二の母の物語-」(2017)「癒しのこころみ-自分を好きになる方法-」(2020)ほか、現在までに数多くの作品を撮影。岡田監督とは古くからの映画仲間。

■松本梨香(まつもとりか) 声優(ヤマトタケル役)

神奈川県出身。1988年にアニメ「おそ松くん」で声優デビュー。以降、数多くの作品で主演を演じる。1997年の「ポケットモンスター」のサトシ役が世界中で脚光をあびる。海外映画・ドラマの吹き替え版にも多数担当。そのほか、舞台やラジオ、歌手など、多方面で活躍。

■人形劇団クラルテ

今回、人形劇パートを担当する、人形劇団クラルテは1948年に発足。子供から大人まで楽しめる人形劇を上演。小学校への巡回公演や、幼児向けの「おひさま劇場」をはじめ、大人向けには近松門左衛門の作品や、シェイクスピアなどの作品を現代人形劇として上演する。

数々の受賞歴があり、日本を代表する人形劇団。

白鳥伝説とは

日本武尊(ヤマトタケルノミコト)は、武勇でその名を知られています。大和朝廷全国統一のために天皇の命令を受け西方と東方に遠征、勝利を収めました。その帰途、^{のぼの}能褒野(三重県亀山市)で没しました。日本武尊は白鳥に姿を変え、大和に向かって飛び立ち、^{ことひきのはら}琴弾原(奈良県御所市)に降り立ったあと、再び飛び立ち、そして、河内の^{ふるいちむら}旧市邑(大阪府羽曳野市)に舞い降り、ついに、天へ向かって飛び去りました。

— 日本書紀より —

映画「ヤマトタケル」キャスト

映画《ヤマトタケル》主要キャスト一覧

2023.4.9現在



《ヤマトタケル》 松本梨香（まつもと りか）

神奈川県横須賀市出身。TVアニメ「ポケットモンスター」シリーズ主人公サトシ役をはじめ「遊☆戯☆王デュエルモンスターズ」の獏良了役など、人気作品のキャラクターを多く演じる。大衆演劇の座長である父を持ち、幼少より芝居の世界に深く携わり舞台女優として大衆演劇、ミュージカルなど数々の舞台に立つ。持ち前の明るさと軽快なトークでラジオのパーソナリティーやバラエティー情報番組のコメントーターなども務める。



《スズ・オトタチバナ》 仁村紗和（にむら さわ）

大阪府枚方市出身。モデルを経て高校卒業後に上京し、2014年に芸能界入り。デビュー前には芸能事務所20社以上からスカウトされた伝説がある。デビュー以降、2年間で15社のCMに出演。東京急行電鉄のイメージキャラクターを長らく務めるなど、所属事務所サンミュージックから「安達祐実以来の本格派」と呼ばれた。2023年3月4日OA、NHKスペシャル「南海トラフ巨大地震」主演。



《トジ》 あめくみちこ

沖縄県出身。主な出演作に、ドラマ『弁護士高見沢響子』シリーズ、映画『空の境界』、舞台「イントゥ・ザ・ウッズ」「かもめ」など。NHKでは、連続テレビ小説『かりん』『どんど晴れ』『カーネーション』、『茂七の事件簿』シリーズ、『逃げる女』連続テレビ小説『ちむどんどん』では、ヒロイン一家と長年親しくしている村のおばあ・安室トメを演じる。



《虎彦》 下条アトム（しもじょう あとむ）

東京都出身。本業の俳優と並行しながら、声優業も行っている。声優としての代表作は『刑事スタスキー&ハッチ』スタスキー役、『ゴールデン洋画劇場』のエディ・マーフィーの吹替、バラエティ番組『世界ウルルン滞在記』のナレーターとして有名。主な出演作品には、ドラマ『氷炎 死んでもいい』『仮面ライダー響鬼』『今夜はコノ字で』連続テレビ小説『信子とおばあちゃん』『藍より青く』銀河テレビ小説『黄色い涙』ほかに出演している。



《クマソ》 酒井敏也（さかい としや）

岐阜県土岐出身。脱サラ後、憧れていた演出家のつかこうへいに見出され、俳優の道へ。以後、独特のキャラクターと印象的な声を武器に、舞台にとどまらず映画やテレビで幅広く活躍する。近年ではバラエティー番組でも人気に。



《マコ》 樹田幸希 (ますだ ゆき)

愛知県名古屋市出身。

女優、マルチタレント、元グラビアアイドルである。

石井隆監督の映画『フィギュアなあなた』と『甘い鞭』に出演して石井隆作品に2作続けて出演している。その他、多くの映画、舞台で活躍している。



《村娘》 原 唯優子 (はら ゆうこ)

東京都出身。

趣味、読書・茶道・神社仏閣巡り・ダンス。

映画、舞台。TVなど幅広いジャンルで活躍。

今後の活躍が期待される女優。



《ガマ・コウモリ》 坂本頼光 (さかもと らいこう)

東京都出身。、活動弁士（無声映画の弁士）、クリエイター、声優、芸人。

少年時代より水木しげるのアシスタントになりたいとイラストなどを独学で学んでいたが、中学生の頃に活動弁士の話芸に強く惹かれて、自らも活弁士の道を志すようになった。笑点やNHK連続テレビ小説「おちょやん」などに出演。声優としても「名探偵コナン」「おじゃる丸」など数々の作品で活躍している。



《ヤマタノオロチ》

現在交渉中

白鳥神社周辺地図



《電車での来場》

近鉄南大阪線「古市駅」を下車。古市東広場奥。

《車での来場》

有料パーキング①②③をご利用ください。古市駅東側の道路は**一方通行**です。有料パーキング①をご利用の際は**赤矢印**に沿ってお越してください。